

Japan Mobility Show 2023 に ZMP が出展いたしました！ ～大盛況のショープログラムで自動運転を実現～

ロボット開発や物流支援ソリューションを手掛ける株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、一般社団法人日本自動車工業会が主催する Japan Mobility Show 2023 に出展いたしました。来場者数 111 万 2 千人の大盛況イベントについて、ZMP の出展の様子をお届けします。

【Tokyo Future Tour(東京フューチャーツアー)】



＜ラクロ、キャリロを使ったショーの様子＞

主催者プログラムである「Tokyo Future Tour」の「Life」エリアでは、生演奏やボイスパーカッション、照明演出のなか、さまざまなモビリティが登場するショーが実施されました。ZMP からは、歩行速モビリティ「RakuRo[®](ラクロ[®])」、物流支援ロボット CarriRo[®](キャリロ[®])AD が交互でショーに出演。実際に自動運転で動き回るラクロ、CarriRo AD の様子は、多くのご来場者に注目していただけました。

また、「Life」エリアには宅配ロボ「DeliRo[®](デリロ[®])」も展示しました。「Tokyo Future Tour」の入口にあたる、「Immersive Theater」の後、真正面に見える展示場所だったため、多くの方が足を止めていました。ご来場者はデリロと一緒に記念撮影をしたり、荷物を入れるボックス部分をのぞき込んだりと興味津々。「使ったことがある」「街で見かけたことがある」「かわいい！」といった声も多数挙がり、期待の高まりを実感する展示となりました。そのほか、警備・消毒ロボ「PATORO[®](パトロ[®])」も「Life」エリア、「EMERGENCY」エリアに展示いたしました。



＜デリロの展示＞



＜パトロの展示＞



<キャリロのデモンストレーションの様子>

【ZMP ブース「Startup Future Factory (スタートアップ フューチャー ファクトリー)」】



<ZMP ブースの様子>

10月25日(水)から、一般公開日の10月28日(土)の4日間はブースも開設しました。ラクロとキャリロを展示し、ラクロは実際にシートに座ることができるため子どもに大人気。キャリロはTVメディアの露出直後だったこともあり「昨日テレビで見た」というお声もいただきました。ブースは対面ならではの会話が弾む交流が生まれました。

【今後の出展予定】

- ① 11月29日(水)～12月2日(土) [2023 国際ロボット展](#)
「NEDO 様」および「ロボットデリバリー協会様」ブースに「デリロ」を展示予定。
- ② 12月22日(金)～12月25日(月) [福岡モビリティショー2023](#) 「デリロ」を展示予定。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 ZMP 広報・ロボプロモーション部

お問い合わせ WEB フォーム <https://www.zmp.co.jp/contact/interview-form>

【株式会社 ZMP】

弊社は、『楽しく便利な社会を創る』というミッションのもと、ヒトの移動は『RoboCar®』、モノの移動は『CarriRo®』、そして生活を豊かにする歩行速ロボ『RakuRo®』、『DeliRo®』、『PATORO®』、それらを管理するロボットプラットフォーム『ROBO-HI®』と自動化のコアエンジン『IZAC®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

本社：東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル

代表取締役社長：谷口 恒

HP：<https://www.zmp.co.jp/> Twitter：https://twitter.com/zmp_official